

指定管理施設の管理運営状況のまとめ(令和4年度分)

施設名 松江市人と情報・文化の交流館
 指定管理者 一般社団法人加賀潜戸遊覧船
 担当課 生涯学習課
 指定期間 令和4年4月1日～令和8年3月31日

1. 総合評価

A	【優れていると評価した点】 2階にあるジオパークビジターセンター及び自主事業の遊覧船の運行と連携を取りながら施設全体として魅力向上に努めている。 【課題、改善点等】 来館者の大半は、遊覧船及びビジターセンターを目的として来館していることから、そういった方に対し、ギャラリー晃光を積極的にPRする必要がある。
---	---

2. 施設利用の増減について

ギャラリー晃光については、利用者数は前年度29人から10.3%増の32人となり、入館料も前年度6,040円から17.9%増の7,120円となった。ギャラリーへの入館者数は低い水準で推移しており、引き続きPRを行うなど取り組んでいただきたい。

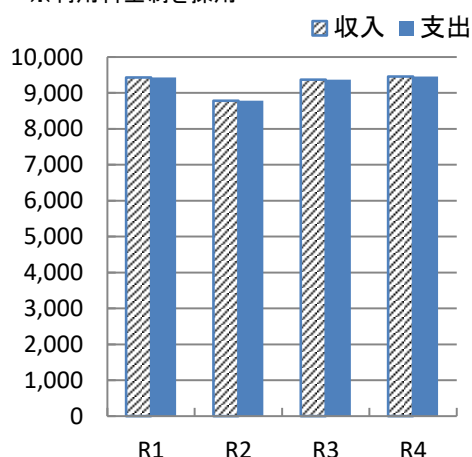
(1) 収支状況の推移（自主事業を除く）（千円）

項目\年度	R1	R2	R3	R4
施設の収入	9,431	8,783	9,370	9,457
うち指定管理料	8,641	8,118	8,710	8,710
うち利用料	4	1	6	7
施設の支出	9,431	8,783	9,370	9,457
差引	0	0	0	0

上記以外の市の収入、支出

市の収入	収入(使用料)	108	108	2	2
市の支出	支出	4,239	2,767	865	372
	うち市の修繕費	341	512	165	369

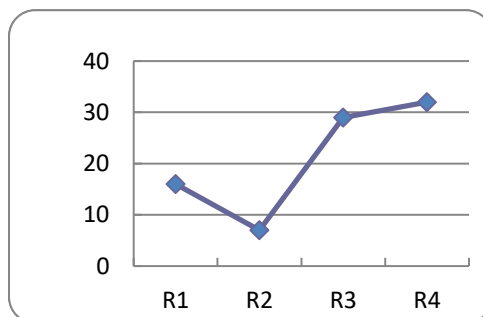
※利用料金制を採用



(2) 利用者の推移

(人)

R1	R2	R3	R4
16	7	29	32



(3) 利用者アンケート

回答数	施設職員の対応・態度等、施設管理やサービスについて	主な意見
0	-	-

3. 自主事業

総括	自主事業として実施している加賀潜戸遊覧船は、前年度利用者数4,000人から23.0%減の3,082人となった。利用者数、利用料収入は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響による観光客の減少、時化や悪天候による遊覧船の欠航などにより、コロナ禍前の水準には戻っていない。
実施状況	遊覧船事業は、利用者数3,082人で前年度比77.1%、利用料収入は4,109,820円で前年比は78.9%であった。

4. 評価項目及びその評価

評価項目	市評価
利用者の意見を取り入れ管理運営を改善していたか	B
利用促進のための計画が練られていたか →利用者数の増減により評価	B
利用促進のための計画が練られていたか →自主事業の実施状況	B
広報活動	B
当初提出した収支計画に基づき、効率的な管理運営が図られたか	B
業務委託した場合、その委託の範囲は適切か	A
事業計画を実行するために適当な組織・人員配置が練られていたか	A
管理責任者は適切な人選がなされていたか、計画実行のための有資格者(経験者)が確保されていたか	A
利用者の安全対策(平常時・緊急時)についての研修等が十分に確保されていたか	B
個人情報の保護についての研修等が十分に確保されていたか	B
災害等に備えた計画(被害の拡大防止措置など)が検討され、利用者の安全が十分検討されていたか	B
緊急時の対応策が十分考えられており、緊急時の責任者や連絡体制が明確にされていたか	A
清掃業務	B
機械設備等の保守点検	B
草刈・植栽管理、外構等施設周辺の管理	B
松江市への報告	A
労働安全衛生	A
施設の巡視	A
職員のマナー(服装・電話・窓口)	A
備品の管理	A